

国際自然保護連合日本委員会 2016 年度事業報告
(2016 年 4 月 1 日-2017 年 3 月 31 日)

2017 年 6 月 12 日 会員総会にて議決

2017/6/12

国際自然保護連合 日本委員会(IUCN-J)事務局

1. 団体としての記録

1.1.加盟団体

2017 年 3 月 8 日段階で、国際自然保護連合(IUCN)に加盟している日本の団体は、国家会員 1(外務省)、政府機関会員 1(環境省)、非政府組織 16 の計 18 団体となる。

内、IUCN 日本委員会(IUCN-J)加盟団体は、上記団体より 1 団体(未加入団体 1 団体)を除き、本部が IUCN 加盟団体となっている 2 団体・準会員 1 団体を合計し、計 20 団体となる。

1.2.会議開催

5 月 24 日 第 1 回 2020 年事業準備会会合

5 月 25 日 運営委員会

5 月 31 日 会員総会・にじゅうまる運営会議

6 月 17 日 第 2 回 2020 年事業準備会会合

6 月 30 日 第 3 回 2020 年事業準備会会合

7 月 1 日 にじゅうまる運営会議

7 月 15 日 第 4 回 2020 年事業準備会会合

8 月 3 日 第 6 回世界自然保護会議 準備会合

8 月 4 日 にじゅうまる運営会議・第 5 回 2020 年事業準備会会合

9 月 23 日 にじゅうまる運営会議

9 月 26 日 役員会議

10 月 18 日 第 6 回世界自然保護会議 報告会

11 月 11 日 にじゅうまる運営会議・第 6 回 2020 年事業準備会会合

11 月 18 日 役員会議

2 月 1 日 にじゅうまる運営会議

3 月 7 日 役員会議

3 月 9 日 運営委員会

3 月 31 日 会員総会

2. IUCN-J 事業

2.1. 団体運営

- IUCN-J および IUCN の会員拡大に向け、広報・勧誘活動を行った。
- IUCN-J の恒常的な発信業務やレッドリスト等のメディア対応・問い合わせ対応を実施した。
- IUCN 親善大使であるイルカさんの、イルカ with Friends コンサート(7月23日)での活動広報・募金活動を実施した。

2.2. 協定締結団体との活動

- 生物多様性条約事務局との MoU(2011.12月署名)に基づき、生物多様性条約第13回締約国会議(以下 CBD COP13)において、UNDB に関する事例を紹介するイベント「UNDB-DAY」(主催:環境省・国連生物多様性の10年日本委員会、生物多様性条約事務局)の開催を支援した。
- 2013年7月16日、愛知ターゲットの達成や、にじゅうまるプロジェクトに関する科学者・研究者との協働を進めるため、国立環境研究所との間で基本協定を締結した。この協定に基づき、3月23日に意見交換を実施し、今後の活動協力について検討を行った。

2.3. 活動の見直し

下記 4. に記載のある 2020 年事業での勉強会を通じ、長期方針の見直しおよび第 3 期(2017-2020)の検討を行った。(詳細後述)

また、2020 年以降の活動展開を見据えて、予算規模に応じた、今後の活動展開にふさわしい組織体制を検討するため、東京ボランティア・市民活動センターでの個別相談等を通じた検討を実施した。

2.4. 外部委員会等への参加

■ UNDB-J への参画

委員会(6月23日)、幹事会(9月21日、2月9日)、運営部会(6月8日、1月27日)

■ SATOYAMA イニシアティブ推進ネットワークへの参画

総会(10月27日、3月12日)、幹事会(7月13日、2月3日)

2.5. 主催・共催・後援事業

表 1(末尾)参照

3. にじゅうまるプロジェクト

にじゅうまるプロジェクトを中心とした生物多様性の主流化推進のための活動を継続し、更なる事業と登録の拡大を行った。経団連自然保護基金に3年目事業として申請した「生物多様性の主流化推進のための活動(2014-2016)」を主な資金源として実施した。

3.1. 宣言事業の世界広報事業

3.1.1. 生物多様性条約関連会合などへの参加を通じた、国際的情報収集・情報発信

- 生物多様性条約第20回科学技術助言補助機関会合・第1回条約実施補助機関会合(以下、SBSTTA20・SBI1)(カナダ・モントリオール、4月25~29、5月2~6日)

IUCN-J 事務局長/日本自然保護協会職員 道家哲平、IUCN-J 事務局/日本自然保護協会職員 佐藤真耶、ユース 1名の計3名が参加し、情報収集や2020年に向けた国際連携の模索・締約国会議(COP)での UNDB-DAY 開催についての打合せ等の機会とした。帰国後、国連生物多様性の10年市民ネットワークとの共催で報告会(7月8日)を実施した。

- IUCN 第 6 回世界自然保護会議(以下、WCC6)(USA・ハワイ、9 月)
IUCN-J 会長 渡邊綱男、IUCN-J 事務局 石黒玲子、日本自然保護協会/IUCN-J 事務局 道家哲平・佐藤真耶が参加し、国際情報収集・発信や関係諸機関との打合せ等の機会とした。また、総会に参加が出来ない会員団体から委任を受け行う代理投票や、展示ブースにおける、想いでつなごう！おりがみプロジェクト(後述 3.3.1b、3.3.2)の実施、同事業パートナーかつ協賛企業であるリゾートトラスト株式会社の参加支援等も実施した。

WCC に向けた準備会を 8 月 3 日、報告会を 10 月 18 日に実施した。

IUCN-J 会員のうち WCC に参加した団体/個人は下記の通り(IUCN が公開している参加者リスト等を参考とし記載)(順不同)：

日本野鳥の会・日本自然保護協会・野生生物保全論研究会・ジュゴン保護キャンペーンセンター・IUCN 日本リエゾンオフィス・IUCN 理事・旭硝子財団・外務省・環境省・コンサベーション・インターナショナル・ジャパン・日本国際湿地保全連合・人間環境問題研究会・自然環境研究センター

- 生物多様性条約第 13 回締約国会議(以下、COP13)(メキシコ・カンクン、12 月)
IUCN-J 事務局 伊藤邦泰とユース 2 名、日本自然保護協会/IUCN-J 事務局 道家哲平・佐藤真耶が参加し、国際情報収集や国際連携の機会とした。

また、各国での UNDB(国連生物多様性の 10 年)や生物多様性の普及啓発の取組に関する優良事例共有を行うイベント「UNDB-DAY」の開催支援を行った。主要な会議の様子や成果はウェブサイトで公開し、報告会は UNDB 市民ネットとの共催で 2017 年 2 月 10 日に実施した。

3.2. 宣言促進事業

3.2.1. 2020 宣言の共通目標化とその実現に向けた連携構築

4 月 28 日現在のじゅうまる宣言数は、372 団体 488 事業となった。

国連生物多様性の 10 年日本委員会(UNDB-J)との協力の下 2020 年までに 2020 宣言を集めるという目標が、UNDB-J の共通目標(UNDB-J ロードマップ)となった。当内容については、12 月 5 日に CBD COP13 の会場で実施された「UNDB-DAY」の場でも、関環境副大臣から直接発言があった。

2020 宣言の具体化に向けた宣言拡大パートナーとの協働体制の構築として、コンサベーション・インターナショナル・ジャパン主催の「パヴァン・スクデフ氏と語ろう！自然と調和する世界の作り方」(11 月 14 日)の共催、高知生物多様性ネットワーク主催のイベント「ふるさとのいのちをつなぐ」(2 月 19 日)への参加、天王寺動物園主催の「世界野生生物の日」記念イベント ～にじゅうまるプロジェクト地域セミナー～(3 月 3 日)の共催(野生生物保全論研究会と共に共催)などを通じ、地域でのセミナー等を実施した。

宣言拡大のための取組としては、CEPA ジャパンが事務局を務める「生物多様性アクション大賞」の応募団体へ「にじゅうまる診断所(当該活動が愛知ターゲットの何番に該当するかを診断したもの)」を送付し宣言を促す活動や、イベントへの参加を通じた広報(大阪自然史フェスティバル・高知オーガニックフェスタ等)、ネットワーク団体の事務局への営業(日本ユネスコ協会連盟・自然保護助成基金・電気・電子 4 団体等)を実施した。

また、連携構築のツールとして開催が予定されていた、IUCN-CEC のリ・ハンイン女史を招へいたコンサベーションサイコロジーに関するセミナーは、スケジュール等の関係から開催を見送った。

3.2.2. 2020 宣言のための基盤整備

宣言拡大のための活動として、ラムサール・ネットワーク日本の協力により、宣言の事務作業を簡略化するためのデータベース「Salesforce」を導入した。これにより、データの入力からウェブページへの情報反映までが一括で行えるようになり、事務作業が改善された。また、業務の定型化・事務フローの体系化を行い、事務作業の効率化が進んだ。

また、これまでプロジェクト開始時から同じものを使用していたリーフレットに関し、見直しを行った。具体的には、各地域別に事例と宣言数を記載した複数のパターンの作成や、愛知ターゲットに関する記載の見直しなどを行った。

3.3. 連携強化実施事業

3.3.1. 協働事業の実施

a) 国連生物多様性の日(5月22日):

普段の暮らしの中で生物多様性を意識することのない人にも、にじゅうまるプロジェクトの存在やにじゅうまる宣言を行った団体の活動、商品を気軽に知ってもらうことを目的としたキャンペーン「クイズで当たる！国際生物多様性の日記念 にじゅうまるキャンペーン」を行った。にじゅうまる宣言済みの団体から提供頂いた商品(例:佐渡市の朱鷺と暮らす郷づくり認証米・カロラータ株式会社の動物マスコット 等)を、クイズ正解者への景品として用意した。ウェブページや Facebook 等の SNS を合わせた総リーチ数は 8,000 人となり、内 46 名からの応募があった。

b) WCC6:

ジュゴン保護キャンペーンセンター・日本自然保護協会・リゾートトラスト株式会社と共同で IUCN-J ブースの運営を行った。その他、各メンバーがイベントの実施やイベントへの登壇等を通じて情報発信を行った。

c) COP13:

生物多様性の主流化に関する日本国内の体系的取り組みを紹介するイベント (UNDB-DAY) の開催を支援した。

d) 認定連携事業業務の運営

にじゅうまるプロジェクト等から認定される UNDB-J 認定連携事業の認定事務について、UNDB-J/Iki・Tomo 推進事務局として業務を担い、生物多様性保全活動への多様な主体の連携推進に貢献した。

3.3.2. 想いでつなごう！おりがみアクションのイベントと、MY 行動宣言動物園水族館版の連携イベントの実施

主に関西・中部圏を中心としたイベントの主催・共催・協力を通じ、おりがみを通じた生物多様性に関する普及啓発活動を実施した。イベントでは、2015 年度に経団連自然保護基金助成により作成した MY 行動宣言の動物園水族館版の配布を行った。天王寺動物園・東山動植物園等と連携を進め、リゾートトラスト株式会社・株式会社ベネッセコーポレーション等と協同しながらイベントを実施した。

4. 2020 年事業

生物多様性、気候変動、持続可能な開発などをめぐる国際的な節目の年である 2020 年と、それに対して 40 周年を迎える IUCN-J の今後の役割について検討を重ねるため、全 5 回の勉強会を実施し、合計 141 名の参加があった。

第 1 回: 6 月 29 日「持続可能な開発と生物多様性の誕生から制度化まで」

講師: 環境文明研究会 加藤三郎氏

第 2 回: 7 月 26 日「持続可能な開発と自然保護」

講師: 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授 蟹江憲史氏

第 3 回: 10 月 18 日「COP10 後の取組・課題と 2020 年に向けた展望」

講師: 環境省自然環境局自然環境計画課長 奥田直久氏

第 4 回: 10 月 4 日「持続可能な社会の構築に向けた金融の役割~脱炭素社会に向けたグランドデザイン~」 講師: 国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEPFI)特別顧問 末吉竹二郎氏

第 5 回: 11 月 15 日「2030 年に向けた 2020 年の活動を考える」ワークショップ

また、6 月 20,21 日にチェジュ特別自治区(韓国)で開催された、日中韓 IUCN 会員会合に参加し、IUCN 理事の堀江正彦氏と共に、2020 年の迎え方について話し合いの場を設け、意見交換を実施した。次回の開催について、日本で実施を検討する方針を固めた。

5. 活動基盤強化

5.1. 運営強化

上記事業を実施するため、体制整備・ウェブサイトやツールの改良、恒常的な発信業務、寄付呼びかけ等を実施し、にじゅうまるプロジェクト運営委員会を隔月開催した。

5.2. ユース育成を通じた基盤強化

生物多様性わかものネットワークと協働し、各地域のユースが、大学生との交流を繰り返しながら、登録拡大、人材育成を行った。

10 月 8 日-10 日に行われた生物多様性わかもの会議(八王子・東京)の開催支援を実施した。また、SBSTTA20 に稲垣里帆(早稲田大学)、COP13 に安藤みゆき・稲垣里穂(共に早稲田大学)の参加支援を行った。

6. 謝辞

本事業の実施に際しまして、下記の企業から御協賛の御寄付を頂きました。(50音順)
ここに厚く御礼を申し上げます。

IUCN 親善大使 イルカさんより、コンサートを通じた募金

株式会社 ヘミングス

株式会社 良品計画【大口寄付】

カラータ株式会社

シャボン玉石けん株式会社

リゾートトラスト株式会社

表 1 主催・共催・後援事業

主催／共催等 事業			
No	日付	事業名	種別(主催／共催／おりがみ)
1	2016/4/1 ~ 4/30	エコパルなごやでのおりがみ展示	おりがみ
2	2016/5/22	エコパルなごや出張ワークショップ :おりがみアクション@名古屋市科学館	おりがみ
3	2016/7/3	宗次ホールでのおりがみアクション	おりがみ
4	2016/7/8	SBSTTA20 報告会	共催(主催:UNDB 市民ネット)
5	2016/7/17	おりがみワークショップ @きしわだ自然資料館	おりがみ
6	2016/7/23	イルカ With Friends Vol.12	主催
7	2016/9/17	環境デーなごや 2016	おりがみ
8	2016/10/8 ~ 10/9	第 6 回 生物多様性わかもの会議	共催(主催:生物多様性わかものネットワーク)
9	2016/10/22 ~ 10/23,10/29 ~ 10/30	秋ラボ海遊館 ~いのちのつながりを考えよう~ おりがみアクション	共催/おりがみ
10	2016/11/6	タイムカプセルプロジェクト 2016 @東山動物園	主催/おりがみ
11	2016/11/14	パヴァン・スクデフ氏と語ろう! 自然と調和する世界の作り方	共催(主催:一般社団法人コンサベーション・インターナショナルジャパン)
12	2016/11/20	揚輝荘 紅葉を楽しむ会	おりがみ
13	2017/1/14 ~ 3/26	どうぶつとわたしたち~生物多様性ってなんだろう~ @天王寺動物園	共催/おりがみ
14	2017/2/10	生物多様性条約第 13 回締約国会議 報告会	共催(主催:UNDB 市民ネット)
15	2017/2/12	天王寺動物園バレンタインイベント ~おりがみアクション~	共催/おりがみ
16	2017/3/3	世界野生生物の日記念イベント ~にじゅうまる地域セミナー	共催/おりがみ
17	2017/3/12	第 15 回スマスイボランティアフェスタ @神戸市立須磨海浜水族園	共催/おりがみ
後援事業			
1	4 月~6 月	湿地のグリーンウェイブ 「参加して知ろう! 湿地の豊かさー保全へのスタート」	ラムサール・ネットワーク日本
2	2/16~4/14	グローバルプラザ国際企画展示 『もったいなばあさんのワールドレポート2』	もったいなばあさんのワールドレポート 展実行委員会
3	8/27~8/29	ラムサールシンポジウム-中海・宍道湖-	ラムサールシンポジウム実行委員会
4	10/30	うなぎ未来会議	日本自然保護協会、中央大学 研究開発機構、北里大学 海洋生命科学部、ロンドン動物学会、国際自然保護連合 種の保存委員会 ウナギ属魚類専門家グループ
5	12/4	第 10 回生物多様性協働フォーラム 生物多様性のためのソーシャルデザイン	生物多様性協働フォーラム事務局(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社、兵庫県立人と自然の博物館、特定非営利活動法人西日本自然史系博物館ネットワーク)
6	2/22	自然資本プロトコル国際シンポジウム 2017	一般社団法人コンサベーション・インターナショナルジャパン
7	2016 年度	日本自然保護大賞	公益財団法人日本自然保護協会